

# JACOT 認定普及員ライセンスセミナーin 長野県安曇野市 開催要項

## 1 目的

長野県の子ども・若者が主体的に学び、夢を持ち自己実現に向かって学ぶために心身の健康や育ちが必要不可欠であり、子どもの育ちの基盤を育むためコーディネーショントレーニングを県内に普及すること。また、新しい発想で地域の課題に取り組む“地域人材”を発掘し、運動指導を通して地域創生に参加する思いを持った人々の「市民力」を高めるためのヒューマンネットワークを築くことをミッションとします。そして「地域力」を創生し、地域の活性化に貢献することで、あらゆる人々の心身の健康増進に寄与することを目的として開催します。

2 主催 特定非営利活動法人 GRIT BASE

3 共催 特定非営利活動法人日本コーディネーショントレーニング協会 (JACOT)

4 後援 長野県教育委員会、(公財)長野県スポーツ協会、安曇野市、安曇野市教育委員会、安曇野市スポーツ協会、安曇野市コーディネーショントレーニング実践研究会 A-COT

5 日時 令和6年7月13日(土) 9:00~16:30

6 会場 堀金総合体育館(安曇野市鳥川2662)

7 対象 18歳以上で「学ぶ会」又は「オンライン入門講座」の受講者30名程度

8 費用 セミナー受講料 22,000円(教本、Tシャツ含む)  
ライセンス登録料 10,000円(登録費用)  
取得費合計 32,000円(オンライン入門講座受講済みの方は29,800円)  
会員の再受講料 3,300円(受講のみ)、6,600円(受講&Tシャツ代含む)

9 持ち物 筆記用具、運動のできる服装、室内シューズ、タオル、飲み物、昼食

## 10 日程

時間	ライセンスセミナー内容
9:00~9:20	受付
9:20~9:30	開会行事
9:30~12:00	コーディネーショントレーニング実技と実践事例①
12:00~13:00	昼食休憩
13:00~15:00	コーディネーショントレーニング実技と実践事例②
15:10~16:10	課題作成・グループ協議
16:15~16:30	閉会行事

※時間や内容は変更になる場合がございます。

## 11 確認事項

- (1) 昼食は、斡旋いたしませんので各自でご準備してください。
- (2) 実技は、見学受講も可能です。事前に講師・スタッフにお伝えください。

## 12 申込方法

下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://jacot.jp/license/seminar2024/>



※申込多数の場合には、受付を終了している場合がございます。

## 13 ライセンス制度

JACOT 認定ライセンスは、誰もが指導することができる実践法として考案された“Basic Co-ordination Training”の普及活動を通じて、地域連携・協働事業に参画する「協働推進会員」を認定する制度です。国や公益法人の補完的な資格制度として位置づけられます。

協働推進会員		基礎条件	受講科目	試験	主な役割	更新条件
講師	クオリファイケーション 質的評価 シジョン	ライセンス登録後 協働事業への参画 累積300時間以上	Co-ordination特論Ⅱ (講義及び演習)	面接・実技	ライセンスや 研修会の講師	協働事業 への参画が 年3回以上
准講師		ライセンス登録後 協働事業への参画 累積100時間以上	Co-ordination特論Ⅰ (講義及び演習)	面接・実技	実践講座の講師 研修会の講師	協働事業 への参画が 年2回以上
指導員		ライセンス登録後 協働事業への参画 累積50時間以上	ライセンスセミナーⅡ	レポート課題 実技・面接	入門講座の講師 実技研修の講師	協働事業 への参画が 年1回以上
普及員 ※今回の受講		オンラインサイト Webcoの登録	ライセンスセミナーⅠ eラーニング	レポート課題 グループ面接	対象者への普及 体験会等で普及	条件なし

## 14 セミナーの内容 (オンライン講座やライセンス教本)



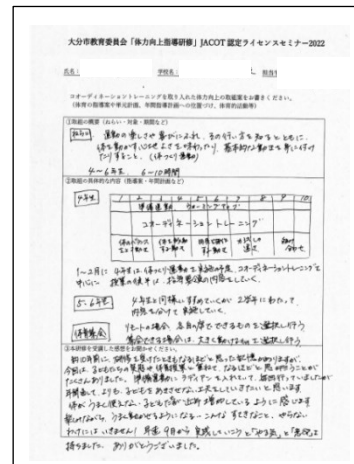
オンライン講座は理論中心



会場セミナーは実技中心



ライセンス教本 (150 頁) を使用



課題は指導案や取組案を作成

## 15 ライセンスセミナーを受講された方の感想 昨年度の開催レポート⇒



・一言で言うならば「楽しかった！」です。eラーニング講座で事前にオンラインで学習しても、実技は映像だけではわかりづらい動きもあったので、セミナーで実際に動いてみて、体験できて良かったです。これから運動遊びの1つとして園で取り入れていきたい。

・事前にeラーニング講座の映像で学び、会場セミナーで実技を体験する流れがよかったです。自分自身があまり運動が得意ではないので、セミナーについていけないのか不安でしたが、全く無理なく実技に取り組むことができました。今後は体育の授業で取り入れていきたい。

・一つ一つの実践が楽しく、かつ考えながら動くことが大切だという理論に運動が苦手な子どもも体を動かす最初の一步になると感じられた。教育課程上に位置づけていくといいと思った。